

2005年 4月15日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8234
 代表者名 取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務

2005年 3月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	3 月 度
百貨店業	4.1
スーパーマーケット業	2.2
卸 売 業	4.6
その他事業	18.5
連結合計	1.3

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	3 月 度	
	売上高	入店客数
心齋橋店	2.8	5.6
梅田店	5.2	3.9
東京店	4.2	3.7
京都店	1.7	5.4
山科店	3.7	-
神戸店	6.5	8.7
新長田店	11.6	-
須磨店	4.1	-
芦屋店	6.6	-
札幌店	0.2	3.4
直営10店舗計	3.3	4.9
博多大丸	9.3	8.7
下関大丸	1.6	2.4
高知大丸	5.7	5.3
今治大丸	2.0	-
百貨店業合計	4.1	-

(注)・直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店計である。

2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	3 月 度
紳士服・洋品	0.4
婦人服・洋品	4.9
子供服・洋品	5.3
その他の衣料品	2.5
衣料品計	4.0
身の回り品	3.6
家具	6.5
家電	9.4
その他の家庭用品	2.8
家庭用品計	4.4
食 料 品	2.9
食堂・喫茶	5.9
雑 貨	2.4
サ ー ビ ス	2.6
そ の 他	27.9
合 計	3.3

3. 概況

1) 百貨店業

- ・3月の百貨店業の売上高は、月初から気温が低めに推移したことで春物衣料品が低調であったことが響き、直営店では対前年 3.3%減、全体では同 4.1%減となった。
- ・直営店の店別売上高は、札幌店は11ヶ月連続、京都店は周辺店舗「ルイ・ヴィトン」効果が持続し4ヶ月連続で前年を上回ったが、他は婦人服を中心に苦戦した。
- ・婦人服・洋品は気温の低下によりミセスを中心に春物の動きが鈍く不振。一方、紳士服・洋品は主力商材のスーツは苦戦したが、キャラクターやインポートジーンズなどが活発に動き全体では微減にとどまった。身の回り品はハンドバッグはベターゾーンを中心に堅調に推移したものの、アクセサリやくつが不振であった。雑貨は化粧品が伸ばしたほか、高級時計や宝飾品に動きがあった。
- ・博多大丸は改装した食品は大幅増で推移するものの、前年実施した販促の反動や下旬に発生した地震の影響も加わり苦戦した。

2) その他

- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年2.2%増となった。
地区別では、関東地区は既存店ベースで前年を上回ったことに昨年12月オープンした新店の嵩上げ効果も加わり対前年3.5%増、関西地区は同0.9%増であった。
- ・卸売業の大丸興業の売上高は、電子部品やホームセンター向け資材などが好調に推移し対前年4.6%増となった。
- ・その他の事業では、建装事業の大丸装工や人材派遣業のディンプル、レストランピーコックが大きく伸ばした。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343